

タンク建設計画について



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

1. タンク貯留汚染水浄化の課題

■目標

- H26年度中に、タンク貯留汚染水の浄化処理を完了し、新設する信頼性の高い溶接型タンクに貯蔵する

■目標達成のための課題

- 溶接型タンクの新設が遅れると、処理済水を貯蔵するタンクが不足するため、タンク貯留汚染水の浄化処理を促進できず、計画期間内の浄化処理が完了できない
- 地下水流入抑制対策が遅れると、汚染水が増加し、計画期間内の浄化処理が完了できない。また、浄化処理能力を増強して計画期間内の浄化処理を完了しようとしても、増加した処理済水に対してタンクが不足し、計画期間内の浄化処理が完了できない



- タンク建設遅れや地下水流入抑制対策遅れの不確実性をカバーできる、余裕のあるタンク建設計画を構築する
- 地下水流入対策遅れの不確実性をカバーできる、余裕のある浄化処理計画を構築する

2. タンク計画の見直し

■ 余裕のあるタンク建設計画への見直し

● 新規開発4地点

◆ 新設タンク設置予定地

-J6:駐車場タンク。前回約3万m³タンクとして報告しているが、約5万m³に増設（+2万m³）。現地溶接型タンク

◆ 新設タンク設置候補地①

-体育館脇の仮設ヤード+体育館撤去により敷地を確保。そこに約4万m³を設置する計画。完成品型タンク

◆ 新設タンク設置候補地②

-大型資機材仮置き場に約2万m³を設置する計画。完成品型タンク

◆ 新設タンク設置候補地③

-Jエリア近傍を整地して約2万m³タンクを設置する計画。現地溶接型タンク

■ 不確実性を排除したタンク建設工程で水バランスを評価

- 高い目標として掲げた工程から施工各社が相当の確度で達成できる工程に変更（J2/3、J5、J4、H1、H2、H4）
- 施工完了時期ベースの工程から供用可能時期ベースの工程に変更



3-1. タンク工程(新增設分)

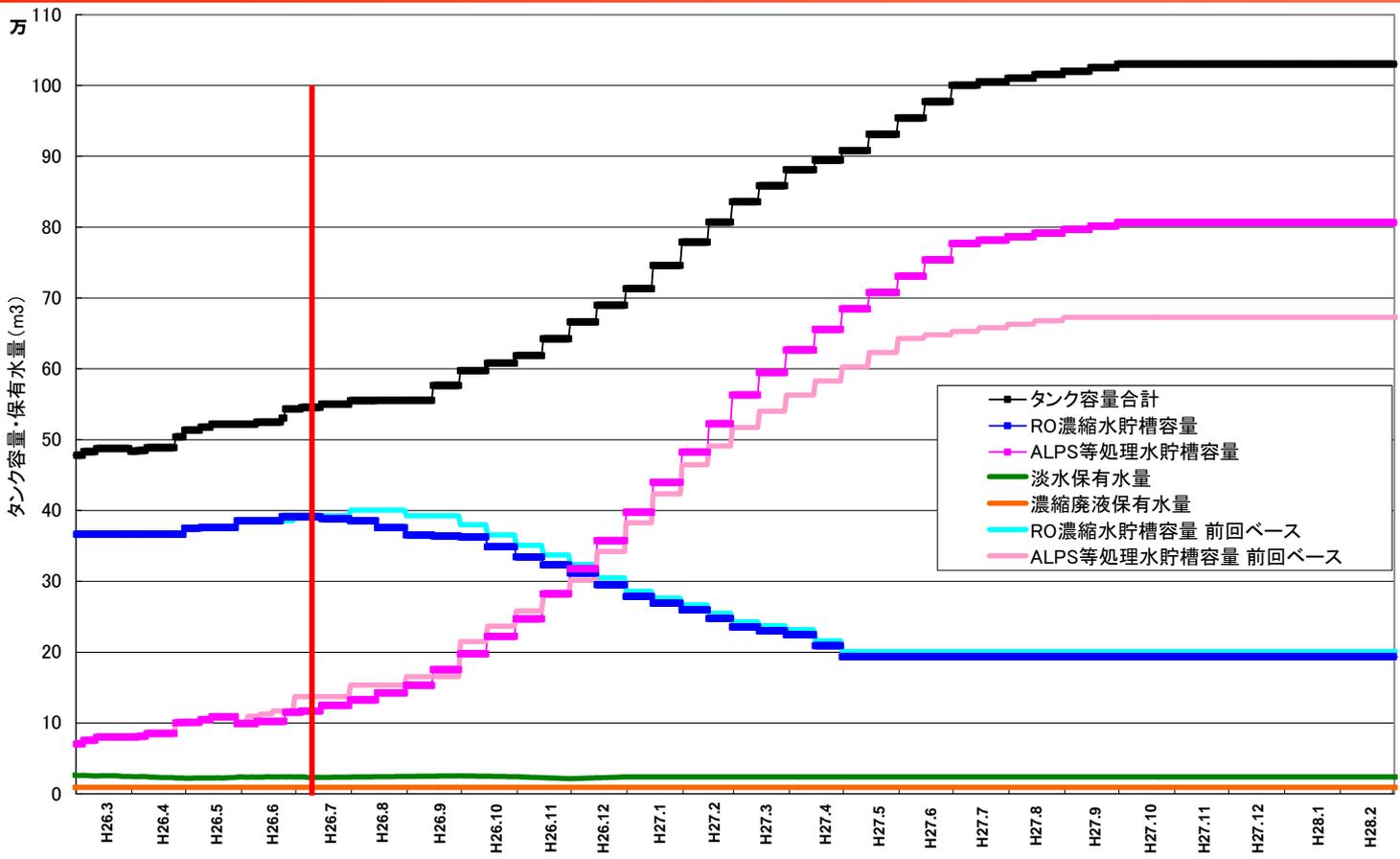
		平成26年度													
		3月まで	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新設タンク	Jエリア タンク建設	J1 現地溶接型	進捗反映:6月30日	53.0	18.0	15.0	7.0	4.0	3.0	太数字:タンク容量(単位:千m ³)					
			供給可能ベース	53.0	18.0	15.0	7.0	4.0	3.0						
		J2/3 現地溶接型	変更:5月19日						7.2	28.8	28.8	28.8	28.8	21.6	9.6
		基数						3	12	12	12	12	9	4	
		供給可能ベース						24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	9.6	
		基数						10	10	10	10	10	10	4	
		J5 完成型	変更:5月19日			15.6	15.6	4.8	6.0	サブドレンタンクを別調達することにより、J5向けタンクを確保					
		基数				13	13	4	5						
		供給可能ベース				9.6	9.6	12.0	10.8						
		基数						8	8	10	9				
		J4 現地溶接	変更:5月19日						14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	5.8
		基数							5	5	5	5	5	5	2
		供給可能ベース							8.7	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	11.6
		基数							3	5	5	5	5	5	4
		G7エリア 完成型タンク	完成型	原案:3月12日	4.2	2.8									
		基数		6	4										
		供給可能ベース				7.0									
		基数				10									
	新設タンク設置予定地 (駐車場) 現地溶接型	原案6月16日									10.0	10.0	10.0		
		追加:7月14日、 供給可能ベース												14.4	
		基数									10	10	10	12	
	新設タンク設置候補地① (体育館周辺) 完成型	追加:7月14日、 供給可能ベース													
		基数									10.0	10.0	10.0	10.0	
		供給可能ベース									10	10	10	10	
		基数													
	新設タンク設置候補地② (大型資機材) 完成型	追加:7月14日、 供給可能ベース													
		基数									10.0	10.0			
		供給可能ベース									10	10			
		基数													
	新設タンク設置候補地③ (Jエリア近傍) 現地溶接型	追加:7月14日、 供給可能ベース													
		基数													
		供給可能ベース											6.0	3.6	
		基数										5	3	12	



3-2. タンク工程(リプレース分)

		平成26年度												
		3月まで	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Dエリアフットタンクリプレース完成型	変更;5月19日			タンク			8.0	9.0	10.0		地盤改良・基礎設置 9.0	5.0		
	供給可能ベース						8	9	10	9	5			
	基数						8.0	9.0	10.0	9.0	5.0			
H1ブルータンク完成型	原案;5月19日				残水・撤去						地盤改良・基礎設置 30.0	12.0	12.0	
	撤去(千m3)										タンク			
	供給可能ベース										9.6	18.0	14.4	12.0
H1フランジタンク(type1;12基)完成型	原案;5月19日							残水・撤去		地盤改良・基礎設置				
	撤去(千m3)								▲ 12	タンク			6.0	12.0
	供給可能ベース										8	15	12	10
H2ブルー現地溶接型	原案;5月19日									地盤改良・基礎設置				
	撤去(千m3)									残水・撤去				10.0
	供給可能ベース									▲ 10				
H2フランジタンク(type1;23基)現地溶接型	原案;5月19日									残水・撤去				
	撤去(千m3)										地盤改良・基礎設置			10.0
	供給可能ベース									▲ 28				10.0
H4フランジタンク(Type1;22基)完成型	原案;5月19日									残水・撤去				
	撤去(千m3)											地盤改良・基礎設置		30.0
	供給可能ベース										▲ 22	▲ 26		30

4. 水バランス(タンク設置計画の比較)



5. 検討条件

地下水他流入量

- 現状（～H26.11）：360m³/日
 - 建屋への地下水流入量：400m³/日
 - 地下水バイパスおよびHTI止水効果：△100m³/日
 - 護岸エリアの地下水の建屋への移送量：60m³/日
- サブドレン効果発現（H26.11～）：140m³/日
 - 建屋への地下水流入量：80m³/日
 - 護岸エリアの地下水の建屋への移送量：60m³/日
- 陸側遮水壁効果発現（H27.9～）：80m³/日
 - 建屋への地下水流入量：20m³/日
 - 護岸エリアの地下水の建屋への移送量：60m³/日

処理設備稼働条件

- ALPS（～H26.9）560m³/日
 - ALPS（H26.10～）合計1,960m³/日
 - 浄化処理追加的措置（H26.12～）合計350m³/日(*)
- *：確定分のみ；今後追加を検討しさらなる改善を図る

その他

- 2・3号トレンチ水抜き（H26.10～H26.12）11,000m³
- 廃液供給タンク他水移送（H26.10）1,500m³



6. 水バランス

